

Link

駒澤大学

Vol.8

May.2018



明日のチャレンジ challenge 2020

空手道部 杉本りさ

陸上競技部 片西 景

サッカー部 高橋 潤哉

コラム「世田谷区小中学校との連携」

「好奇心で始めたボランティア
ケニアの農村とスラム街で貧困と闘う」

白石 陸 グローバル・メディア・スタディーズ学部

「経営学で重要なのは理論をいかに実践するか。
グループワークで培った企画力と団結力を存分に生かせ！」

経営学部 中村 公一ゼミ

【OB 対談】

「めざすは賢いサッカー。“駒澤スピリッツ”で夢の実現へ」

リーグ
ベガルタ仙台 渡邊 晋 監督 × 小林 慶行 コーチ

【名誉教授に聞く】

高木 正博 名誉教授

特集：明日への
チャレンジ

禅の実践と仏教の研究の場としてスタートし、

420年以上の歴史と伝統を誇る駒澤大学。

その理念を一語で表すと「行学一如」。

自己研鑽を続ける行と学問研究とは一体であるという考え方だ。

多様な繋がりを大切にし、社会の急速な変化を乗り越えて、

よりよい明日を築こうとチャレンジを続けている。

2 [特集] 明日へのチャレンジ

challenge 2020

空手道部 杉本りさ

陸上競技部 片西景

サッカー部 高橋潤哉

コラム「世田谷区小中学校との連携」

7 「好奇心で始めたボランティア
ケニアの農村とスラム街で貧困と闘う」

白石 陸 グローバル・メディア・スタディーズ学部

8 「経営学で重要なのは理論をいかに実践するか。
グループワークで培った企画力と団結力を存分に生かせ！」

経営学部 中村 公一ゼミ

10 [OB対談]

「めざすは賢いサッカー。
“駒澤スピリッツ”で夢の実現へ」

Jリーグ
ベガルタ仙台

渡邊 晋 監督 × 小林 慶行 コーチ

14 [研究レポート]

「数学と物理のちからで命を救う。
放射線とAI技術を駆使したがん治療最前線」

医療健康科学部 馬込 大貴 講師

「日本型地域活性化の秘訣は？
アントレプレナーを育て経済も社会も元気に」

経済学部 長山 宗広 教授

16 駒大NEWS

2017～2018

18 駒澤大学の就職力

求人企業は1万5536社、就職決定率98.0%!

19 [名譽教授に聞く]

「水」の視点で、
自然と地域、人間の関わりを見つめ直す

高木 正博 名譽教授

20 ズームアップ種月館

現役駒大生が案内

22 数字で見る駒澤大学

駒澤大学の特色を数字で探ってみよう

23 [学長メッセージ]

「青春」時代を駒澤大学で過ごすことの意義

長谷部 八朗 駒澤大学学長

沿革/学校法人駒澤大学教育機構

※表紙:illustrator 大久保 ナオ登

制作・発行 駒澤大学 総務部 広報課



東京大会への挑戦
challenge
2020

2020年東京オリンピック・パラリンピックまであと2年

56年ぶりの東京開催とあって、日に日に関心が高まっている

その選手選考はこれからが正念場だ

東京大会出場に向けてチャレンジを続ける

駒澤大学の若きアスリートたちを紹介しよう(文中、敬称略)

ライバルの存在が
空手を続けるモチベーションに

駒澤大学の空手道部に所属する杉本りさは、東京オリンピックで新種目となる空手・組手競技の期待の星だ。

2017年度の全日本強化選手に指定されてナショナルチーム入りし、17年10月、スペインで開催された「第10回世界ジュニア&カデット・U-21空手道選手権大会」女子組手の所属階級で、見事、金メ

ダルを獲得。21歳以下の世界チャンピオンとなったのだ。

その後も18年1月から、次世代を担う選手育成のためフランスで行われた2ヵ月間の強化合宿に、ナショナルチームの一員として参加。オリンピックを見据えてフランスナショナルチームやブラジル、チリ、カナダからの海外選手との合同練習をこなしたほか、各地で開かれる国際大会に参戦し、国際競技力の強化に取り組んだ。空手との出会いは小4のとき。友だちに

杉本りさ

Sugimoto Risa

目標は世界ランキング50位以内。 国際試合で実績をあげ、出場資格獲得へ



文学部心理学科3年。1997年山梨県上野原市生まれ。日本航空高校3年のとき同校初となるインターハイ組手団体優勝。駒澤大学に進学後、全日本強化選手に指定され、2017年の世界ジュニア&カデット・U-21空手道選手権大会において女子組手で金メダル。



第10回世界ジュニア&カデット空手道選手権大会にて

誘われて何となく始めたところ、「やってみたら楽しかった」と振り返る。

「体を全部使う競技なので、バランスの取り方などがすごく難しいですが、技が決まった瞬間が魅力でした」と語る杉本だが、小学校から中学校までは、同じ道場出身で同級生のライバルがいて、なかなか勝てなかった。中学最後の大会でライバルに初めて勝利。コート上でその子と抱き合っ

て泣いた。
「ライバルがいたおかげで、辞めずにがんばることができました」
その後、高校でもインターハイ優勝のと

きの大将を務め、駒澤大学へ。

しかし、防具をつけて試合をする高校と防具なしの大学とは戦い方が違うこともあり、大学に入って1年間は思い通りの成績が残せずに毎日泣きたい気持ちだったという。それでも、「基本こそ大事」と指導してくれる監督や先輩のアドバイスを

受けて、結果を出せるようになった。
目標は2年後の東京オリンピック出場。出場資格を得るには、国際大会に出てポイントを稼ぎ、世界ランキング50位以内に入らなければならない。さらに、同じ階級にはほかに日本の有力選手がいるため、選

手同士の切磋琢磨を経て、勝ち上がっていく必要もある。
「勝つためには、ただ練習すればいいのではなく、人としてどう成長するかも重要です。感謝の気持ちや礼儀を忘れず、徳を積むことも大切にしていきたい」と自らを戒める。
心技体の成長の先が、夢のオリンピックへと繋がっていく。

高校までは無名の選手 駒大で才能が開花

陸上競技部の片西景は、中学までは野球少年だった。しかし、「体が小さく、高校で硬式野球は無理」と陸上部へ。持久走が好きたので駅伝で活躍したかったという。しかし、進学した高校は駅伝では無名でメンバーも10人程度。3年間、片西が1区を走り、そのあとじりり順位が後退してい

くという状況だった。3年次には、東京都高校1区を走って学校史上初の区間賞を獲得。個人のレースでも5000mで14分台の好タイムを出し、関東大会に出場した。

まさに孤軍奮闘だったが、そんな片西に注目した人がいた。駒澤大学陸上競技部の大八木弘明監督だ。

片西は、走りが認められて高校卒業の年の1月に行われた都道府県対抗駅伝の出場選手に抜擢された。

「そのときは区間11位で悔しい思いをしましたが大大会に来ていた大八木監督から、『今日負けた選手、全員に勝たせてやるぞ』と言われて、それを信じて駒澤大学に進学しました」
1年次は、強豪校出身の実績のある同級生に囲まれ、とにかく練習についていくので精一杯だったという。

頭角をあらわしたのは2年次だ。
「夏合宿でレベルの高いチームに志願し

て入り、きつい練習に必死に食らいついて、力がついてきました」
11月の全日本大学駅伝で初めて6区を走り、翌1月の箱根駅伝では9区を走った。
「駅伝で使ってもらえたことで、以後のレースに自信をもって臨めるようになりました」
3月の日本学生ハーフマラソンでは、エースの工藤有生に次いで3位となった。

3年次には、ユニバーシアードハーフマラソンに出場。日本の大会で敗れた2人を抑えて優勝した。駅伝の成績も、全日本では1区を走って区間2位、箱根でも1区・区間3位。



第29回ユニバーシアード競技大会で。大八木監督、工藤選手とともに

今年が勝負の年。 まずは駅伝で区間賞をめざす

片西景

Katanishi Kei

文学部地理学科地域文化研究専攻4年。1997年東京都国立市生まれ。昭和第一学園高校から駒澤大学に進学。2017年台北市で開催された第29回ユニバーシアード競技大会ハーフマラソンで優勝。3年時の全日本大学駅伝で1区・区間2位、箱根駅伝でも1区を走り区間3位。



スポーツフェスティバル in 玉川 2017

から得るものは大きいようだ。ある学生が競技を通して得た、目標に向けて努力することや諦めない心の大切さを話すと、子どもたちは真剣な表情で聞き入ってくれた。授業後、その学生は、自分の思いを子どもたちに伝えることで、新たな気づきを得たと語っている。
また、2017年10月1日には、2010年度から開催している「スポーツフェスティバル in 玉川」を、東京2020映画プログラム「応援プログラム」として実施。「地域は家族をテーマに掲げ、地元の方たちと実行委員会をつくって準備を進めた。学生アスリートや指導者がアドバイザーする「スポーツ教室」や様々なスポーツにトライできる「スポーツ体験会」のほか、世田谷区立喜多見児童館が運営する「屋台村」、相撲部による「ちゃんこ鍋試食会」、吹奏楽部の演奏、坐禅体験など多彩なプログラムを用意。当日は1500人以上の参加者でにぎわった。



世田谷区立喜多見中学校で女子生徒が空手道を体験

世田谷区の小中学校で「オリンピック・パラリンピック教育」

小・中学校の児童・生徒を対象に、都内各地で東京オリンピック・パラリンピックに向けた学校教育が進められている。駒澤大学でもこれに協力する形で、地域との連携事業として、世田谷区内の小・中学校に体育の「出張授業」を行っている。

2017年度に授業を行った種目は、体操・長距離走・空手道、ボクシングなど。駒澤大学の体育会所属団体が中心となって、監督やコーチが小・中学生の指導にあたり、学生アスリートも協力。競技を体験することで、子どもたちは競技への興味を抱くようになり、どの授業も大人気だった。

協力する学生にとっても出張授業

高橋潤哉

Takahashi Junya

経営学部経営学科3年。1997年秋田県秋田市生まれ。山形・鹿城学園高校時代はモンテディオ山形ユースに所属。駒澤大学に進学後は関東大学リーグで活躍。2017年U-20全日本代表選抜としてミャンマー遠征に参加。18年3月の大学白熱定期戦の選抜メンバーにも選ばれた。



イングランド・プレミアリーグを夢見て 応援してくれる人のためにもチャレンジを

過去は変えられないが
未来は変えられる

駒澤大学陸上競技部の中心選手となるまでに成長した。
「今年は勝負の年」という片西。目標は、入学してからまだ成し遂げていない駅伝の優勝、そして大八木監督の胴上げだ。そのためには自らの区間賞獲得をねらう。
さらにその先にあるのがマラソンだ。駒澤大学出身の先輩には東京オリンピックの有力候補の一人である中村匠吾選手や、大塚祥平選手などがある。
「先輩から刺激を受けながら練習し、可能性が見えてきたらオリンピックをねらいたい」。力強い言葉が返ってきた。

大学から頭角をあらわした片西に対して、高校時代、Jリーグ・モンテディオ山形のユースチームで中心選手として活躍していたのがサッカー部の高橋潤哉だ。サッカーを始めたのは小3のころ。
「負けず嫌いだだったので、ゴールをねらうことばかり考えていました」と語る通り、当時からポジションはフォワード。子どものころからの夢が、プロのサッカー選手になることだった。

山形ユース時代は18歳以下の頂点をめざすプリンスリーグで戦い、高校3年次には得点王にも輝いた。しかし、チームとしては東北で8位に終わった。
「ユースからトップチームへの昇格をめざしましたが、自分の力不足で結果が出せず、昇格が難しくなって大学進学を考え



たときに、大卒でプロに行ける可能性の高い大学として選んだのが駒澤大学でした。駒澤のサッカーは縦に速く、運動量が豊富でフィジカルの強さがあるチームだったので、自分のスピードや良さが生きるとも考えました」
しかし、1年のときは試合には出られな

かった。
「つらい1年でしたが、絶対見返してやる」と決意しました」
我慢の1年を乗り越え、一気に開花したのが2年目の春だ。大学リーグの開幕戦から先発出場し、第4節では初ゴールを決めた。その後の試合でも次々とゴールを決め、頼りがいのあるストライカーへと成長。6月のU-20全日本大学選抜に選出されミャンマーにも遠征した。

「ミャンマー遠征は同世代だけでしたが、大きな刺激を受けました。自分のレベルがまだまだと感じたけれど、超えられない壁でもない。同期の人たちをどんどん追い越していきたいという気持ちが強くなりました」

指導してくれる秋田浩一監督からの言葉にいつも勇気をもらう。「過去は変えられないが未来は変えられる。」「チームが勝つために自分が何を考えるか。」「自分のためだけでなく、応援してくれる人たちのためにどれだけサッカーと向き合えるかが大事だ」。単に強くなるだけでなく、人間的な部分で大切なことを教えてもらっている、と高橋は言う。

夢はイングランド・プレミアリーグ。Jリーガーになることも目標の一つだが、それはあくまで通過点。オリンピック出場の実もある。
「前に進んで行くには一步一步の積み重ねが大事。支えてくれる人たちに感謝しながら、選ばれるようにがんばります」

明日のチャレンジ 国際ボランティア

好奇心で始めたボランティア ケニアの農村とスラム街で貧困と闘う 白石陸

グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科4年

国際関係論の講義をきっかけに、1年次の夏休み、ケニアでボランティア活動に従事。2年の夏には1年間休学して農村に蔓延するスナノミ症とスラム街の結核根絶に取り組んだ。帰国後の今も、病気と貧困をなくすための活動を続けている。

ケニアの農村で知ったスナノミ症

海外ボランティアを思い立ったきっかけは大学1年時の授業だった。
「国際関係論の講義で、世界の人口のおよそ半分がマリアリアのリスクに曝されているという話を聞いたのがきっかけです。行ってみなければわからないと、夏にケニアに3週間ぐらい滞在しました」
ボランティアは未経験。ネットで調べて最初に目に飛び込んだNGOに連絡を取った。3週間のうち2週間はサファリツアーで、実際にボランティア活動をしたのは1週間。学校の教室の壁のペンキ塗りが主な仕事だった。

活動したのはケニアとウガンダの国境沿いにあるエスンバという農村。そこで、コミュニティリーダーとして活動している50代半ばのエドワードさんとの運命的な

出会いがあった。

エスンバ村は住民の7割が「絶対的貧困層」であり、公的な医療施設も下水道インフラも電気もなく、住民は慢性的な栄養不足で感染症にも苛まれていた。
深刻な病気の一つがスナノミ症という皮膚病だ。ノミが手足の爪の中に入り込んで寄生し、進行すると全身を壊死させる。ケニア全域で約200万人ががり患している。とされ、エスンバ村があるブニヨシ地域のり患率は50%以上といわれる。

現地からの訴えに1万足の靴

スナノミ症の最も有効な予防法は靴を履くことだが、現地の人々は貧しく、特に子どもたちは裸足の生活が一般的だ。
翌年、政策提言や普及啓発活動を行っている国際NGOの日本リザルトと協働でエスンバ村を再訪。エドワードさんの家

で寝泊まりしながら治療と予防に取り組む一方、日本から靴を送る運動を始めた。白石さんの呼びかけに全国から1万足を超える靴が寄せられ、子どもたちは「この靴を抱いて寝る」と喜んだという。

その後、このエスンバ村での活動は、在ケニア日本大使館の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」として日本政府から資金供与された。その他にも、ケニアの首都ナイロビのスラム街で結核の予防・啓発活動にも取り組んだ。

今も日本リザルトケニア事務所ディレクターとして活動を続ける白石さん。

「日本に帰って、勉強をもっとがんばろうと思いました。現地での体験はもろもろ大事だけれど、それに知識をプラスすれば、できることはもっと多くなる。途上国の現状を知った上でスキルを身につけ、今後は都市計画にも取り組みたいですね」





奥沢メキシコ・フィエスタでのワークショップ

かれて研究し、対抗戦によるプレゼンテーション合戦で勝敗を決するというユニークなゼミ運営をしている。奥沢メキシコ・フィエスタでの企画も、3チームで競い、商店会の代表の前でプレゼン。選ばれたのは、子どもたちにメキシコの帽子ソンプレロに飾り付けをしてもらい、それを売るPOPカードを作ってもらおうというワークショップだった。

当時3年生でチームを引っ張り、今年卒業した岡田浩太は振り返る。

「どんな層の人たちがお祭りに参加するかをインタビューする中でひらめいたのが、子どもも親も楽しめるような、遊びながら勉強にもなるエデュテイメントのプログラムでした」

フィエスタは2日間開催され、ワークショップは定員20人で1日3回行ったが、毎回満員となる大盛況だった。

「来年もぜひ」ということになったが、翌17年は会場となるビルの耐震補強工事が行われるため中止になってしまった。そんなとき、商店会から評判を聞いた世田谷区から、玉川総合支所庁舎を解体することになったため、解体直前イベントとして庁舎を自由に使った企画を考えてほしいという依頼が舞い込んだ。

いつもならゼミ内のアイデア対抗戦で決めるところだが、今回は期間が短かったため、皆で意見を出し合い一つの案を考えることになった。村松芽育(4年)は語る。

「庁舎とお別れということで、参加者が建物の中をあちこち移動するような企画で、庁舎に関連した謎解きを加味した脱出ゲームのアイデアが出て、一気にプランが固まっていきました」

ストーリーを担当したのは、4年の中西葉紀だ。



庁舎解体記念イベント
上: 解体するので落書きも自由
左: 庁舎をまわりながらキーワードを集めていく

世田谷区との協働による 庁舎解体記念イベント

「女の子の霊が解体工事の邪魔をする。そこで参加者が探偵として庁舎をめぐる謎を解き、霊を成仏に導くというもの。お化け屋敷の要素も入れ、ストーリーに一貫性をもたせました」

「どんなことをしたら子どもたちのツボにはまるか、経営戦略というわけではないけれど子どもたちのニーズを踏まえてアイデアを出しました。小学校の放課後ルームでアルバイトをしている経験が生きたかなと思います」(4年・小原峻)

求められる以上の成果をめざす 真剣勝負が学生を鍛える

イベントが行われたのは10月7日。中村ゼミが企画・運営した脱出ゲームには小さな子どもや大人を含めて約130人が参加した。「落書きが楽しかった」「怖くてドキドキしたなどの感想が寄せられた。

「ふだんのグループワークの中で、企画力を養い、それをすぐに行動に移せる力を培ってきたことが、まさに証明できたと思います」と村松。

今年3年生になるゼミ生たちは、先輩から学ぶことが多かったという。

「先輩の背中を見て、今度は自分たちが指示を出したり、しっかり役割分担をしていかなければと思いました」(3年・土屋琴実)

「企画だけで終わらず、実践する大切さを学びました。子どもたちからの『ありがとう』『楽しかった』という声の励みになりましたね」(3年・石田あかり)

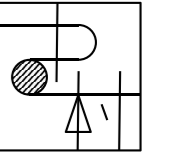


16期-19期のゼミ生が全員集合!

ゼミ生一人ひとりに着実に受け継がれていく「中村ゼミ精神」。中村教授は、ゼミ生の成長ぶりに目を細めながら、このようにしめくくってくれた。

「地域の方々と連携や企業との協働プロジェクトでは、自分たちの企画がどの程度通用するものかを、身をもって知ることでできます。受け手のニーズとがっばり四つに組んで、なおかつ、求められる以上の成果を出そうと真剣に挑む。この体験こそが学生を鍛えてくれるんですね。多様な個性をもったゼミ生が、こそぞというときに一致結束する。そんなゼミをめざしています」

次はどんな挑戦が待っているのだろうか。



Nakamura Seminar

経営学で重要なのは
理論をいかに実践するか。
グループワークで培った
企画力と団結力を存分に生かせ!



経営戦略論が専門の経営学部・中村公一教授。
昨年、中村ゼミのメンバー全員で取り組んだのが「呪われた庁舎からの脱出」というアドベンチャーゲーム。「え?経営学部でなぜ脱出ゲーム?」と思うなかれ。
経営学の理論は実践するためにある。
実践力を磨くためには、実際に行って得られる「体感」こそが大事なのだ。

ゼミの先輩からSOS

「商店会のお祭りに手を貸して!」

現代企業の経営戦略研究をテーマに、企業や業界の分析、ビジネスモデルの策定を行っているのが中村ゼミ。

「いくら経営学の理論を身につけても、それだけでは社会で役に立ちません。どういふふうに人が動けばうまくいくのか、私たちの行動を左右するのには何かを体感することが大切です」と中村教授。

3年前からゼミ生たちが体感している

のが、子どもを対象としたイベントだ。
2015年、かつて中村ゼミに在籍していた先輩から「ぜひ協力して」と依頼があった。世田谷区にある東急・奥沢駅前の商店会の関係者で、「奥沢の街を盛り上げるため、奥沢メキシコ・フィエスタ」というお祭りを開催するが、若者の力がほしい」と中村教授に助けを求めてきたのだ。

このときは当日スタッフとしての協力で終わったが、翌年は企画づくりから参加することになった。

中村ゼミでは課題はすべてチームに分





Jリーグ
ベガルタ仙台

監督 **渡邊 晋** × コーチ **小林 慶行**

めざすは賢いサッカー。
“駒澤スピリッツ”で
夢の実現へ

昨シーズンのJ1リーグの最終成績は12位だったが、
J1リーグや天皇杯と並ぶ
日本3大タイトルの1つ、ルヴァン杯ではベスト4に進出。
今年はさらに上位をうかがうベガルタ仙台。
渡邊晋監督と小林慶行コーチが
めざしているのは「賢いサッカー」だ。
就任5年目の今年を飛躍の年と位置づけ、
リーグ戦トップ5、カップ戦ファイナリストに挑んでいる。

他大学とはひと味違う
駒澤のサッカー

— お二人とも桐蔭学園高校から駒澤
大学に進んでいますね。

渡邊 ぼく自身は小・中学生のときに教
わった監督さんの縁でサッカーをやりた
くて桐蔭学園に入ったものの、同期に才
能のある選手が大勢いて到底かなわない
からサッカーは高校でやめるつもりだっ
たんですよ。それが当時の駒澤大学の監
督から「一緒に日本一になろう」と言わ
れて、18歳のぼくにはその言葉が強烈に
響いて、駒澤大学でサッカーを続けるこ
とを決意したんです。

小林 ぼくが入学したのはちょうどナベ
さん（渡邊監督）が卒業した年で、ナベさ
んなどの活躍もあって駒澤大学は全国で
もトップクラスで、ほかの大学とは違った
レベルの高いサッカーをやっているとい
う感じがありましたね。

渡邊 駒澤大学のサッカーがどんなサッ

カーかといえば、「賢さ」。ただ蹴って走っ
てではなく、考えるサッカーというか、そ
の点はほかの大学と比べると相当上回っ
ていた感じがあります。最高学年のとき
は総理大臣杯と全日本大学サッカー選手
権大会（インカレ）でも初優勝でき、
駒澤に来てよかったなと思いましたね。

小林 ぼくも2年ぶりのときに春の関東選手
権と総理大臣杯で優勝し、リーグ戦は準
優勝だったけれどインカレで優勝しまし
た。その年は前半の半年間は監督が不在
だったにもかかわらず優勝でき、ほかの
大学とは違うところを示せたと思
います。その後、現在の秋田浩一監督の
時代になって、秋田先生からは、基本を大
切にする、走ることや仲間を大切にす
るなど、当然のことですが、やるべきこと
をしっかりやるということを教わりました。

— お二人は大学では重なってはいま
せんが、お互いの存在は意識して
いましたか？

渡邊 年に1回のOB会で顔を合わ
せるぐらいでしたが、ぼくと慶行（小林
コーチ）は同じ法学部法律学科で、ぼく
がテストの前に一生懸命とめたレポ
トなどは、後輩に引き継がれたと聞いて
います。
小林 たしかに、ありがたかった（笑）。
テスト前には、大変参考にさせてもらっ
て仲間と共有できました。「渡邊晋」と書
いてあるレポートとか、サッカーの実績
以外にもナベさんの置き土産がすごく多
かったですね。



選手、フロント、サポーターの想いを結集させ、タイトルをめざす

渡邊 晋 プロフィール
1973年東京・日の出町出身。
96年駒澤大学法学部法律学科卒業。
同年コンサドーレ札幌に入団。ヴァンフォーレ甲府、ベガルタ仙台で主力として活躍。2004年現役引退。
05年ベガルタ仙台コーチ。トップチームコーチ等を経て14年4月監督に就任。クラブ初のOB監督となる。

—その後はプロとして活躍しました。現役時代の思い出は？
渡邊 仙台に来てJ1昇格に携わったことが一番の思い出ですね。あとはケガで苦しんだことくらいでしょうか…。
小林 ぼくは東京ヴェルディのときに天皇杯で優勝したこと。決勝戦が元日にあり、その日に試合ができる喜びがすごくあって、サッカーできるのは俺たちだけなんだなと思いました。もともとその試合で多くはイエローカードを2枚もらって退場したんですけど…(笑)。

「俺たちは被災者じゃない」
希望の光になろうと
快進撃

—渡邊監督は現役引退後、ベガルタ仙台のコーチとなり、2011年には東日本大震災にも遭いました。どのような状況だったのでしょうか？

渡邊 翌日のホームでの名古屋グランパス戦に向けてクラブハウスで準備しているところでした。突然の大きな揺れで天井が落ちたり、地盤沈下が起こったりでもう大変でした。自宅もいろいろ倒れたものが倒れたりしましたが、幸い家族にケガはありませんでした。

—Jリーグは中断し、ベガルタ仙台は活動休止を余儀なくされましたね。

渡邊 あのと、正直ぼく自身は被災者だと思ってました。震災から1カ月以上経って、関係者の努力によって震災後初めてのゲームがホームで行われたんですが、当時の監督だった手倉森さん(手倉森誠氏。04年から13年までベガルタ仙台監督。現在、日本代表コーチ)がいち早く準備していて、集まった選手に伝えたい言葉は「俺たちは被災者じゃない」ということ。震災で多く



渡邊 ぼくもヘッドコーチだったので、成績不振の責任はあるわけです。その上で、クラブから「渡邊、頼むぞ」という話があったときには、もう時間もありませんし「やってやる」としかありません。でも、今の僕のキャリアや経験があった上で、あの日にも戻ったとしたら、絶対引き受けなかったですね(笑)。当時は怖いもの知らずで、監督としての責任の重さや、プレッシャーの大きさというものを何もわかっていませんでした。

—監督就任と同時に小林さんをコーチとして招聘されましたね。

渡邊 監督就任が急だったので、その時点でいたスタッフで継続していくしかない状況だったのですが、せめて自分とサッカー観が近い人をコーチと呼びたいと、声をかけたのが慶行でした。彼とは年に1回くらいしか顔を合わせてなかったんですけど、桐蔭、駒澤と同じサッカーをやってきたのでルーツはおそらく

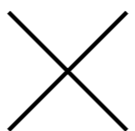
一緒だろうと思いました。それに彼が放送で解説しているのをよく聞いていて、サッカーの見方などに共通するものがあったし、話も面白かった。解説も指導者も、自分の考えをしっかり言葉で伝えなければいけない仕事です。解説を聞いていて彼なら任せられると思いました。
小林 コーチにならないかと話があったときにはびびりましたよ。コーチの経験はまったくありませんし、一番は、「え？俺でいいの？」(笑)。

渡邊 慶行は、現役引退後は解説などのマネジメントをしてくれる事務所に入っていて、それが駒澤大学の先輩の事務所だったんです。当然、彼が抜ければ解説の仕事に影響があるので事務所としても大変だろうと前もって相談したら、先輩は「お前が必要とするなら後のことは心配するな」と快く送り出してくれました。これも縁だなと思いましたね。
監督としてめざしているのは、高校・大学と追求してきた安いサッカーです。

KOMAZAWA
OB
対談



監督 渡邊 晋



コーチ 小林 慶行

だから慶行を呼んでよかったなと思いますよ。自分一人で「こういうことをやりたい」と考えてもなかなか具現化しなかったと思いますし、彼にはことあるごとにいろんな相談をして、助かってます。
小林 遠慮せずに外からの目で意見を出すことがぼくの仕事だな、と。解説の仕事をやりがらも、もう一度戦う場所に身を置きたい、刺激のある場所で勝負したいと渴望していましたから、今は現役時代と同様、真剣にサッカーに向き合う日々です。

—今後の目標は？

渡邊 近い将来タイトルを取りたい。そのステップとして、今シーズンはリーグ戦でトップ5に入ることを目標に据えて、一歩一歩階段を上っていきたくと思っています。

プロスポーツって現場だけがその気になってもだめなんです。フロントやスポンサー、応援してくれるサポーターも含めて、現場を取り巻く環境がすべて「よし、タイトルを取るぞ」という機運になってい



© VEGALTA SENDAI

小林 秋田先生と出会って、仲間と夢に向かってがんばることの素晴らしさ、そして、夢を実現させるためには当たり前前のことをきちんとやることの大切さを教えてもらいました。それがぼくにとっての「駒澤スピリッツ」です。



仲間とともに、夢に向かってがんばる素晴らしさを知った

小林慶行 プロフィール
1978年埼玉・与野市(現さいたま市)出身。00年駒澤大学法学部法律学科卒業。99年ヴェルディ川崎に入団し、2004年第84回天皇杯優勝を経験。その後、大宮アルディージャ、柏レイソル、アルビレックス新潟で活躍。13年現役引退。14年6月ベガルタ仙台のコーチに就任。

震災前年は14位だったのに、震災後は11試合負けなしで、最終成績は4位。翌年は2位と良い結果を残しましたがね。サッカーにおいてメンタルがいかに大きいかを痛感しました。

互いに支え合う
人との繋がりを大切に

—渡邊さんは、2014年4月に、グラハム・アーノルド監督が成績不振により退任されたあと、急ぎょ監督に就任されました。どんなお気持ちでしたか？

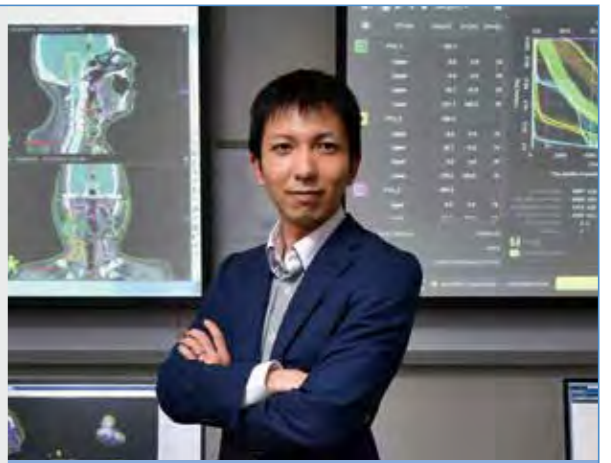


かないと上を狙うのは難しい。そこがいわゆるビッグクラブと違うところ。お金もあって人も集まるところ。だったら方法論は別ですが、こういう規模も小さい地方のクラブが「やってやるぞ」となるには、みんなの想いや力を結集しないと到底無理。だけど、だからこそ面白いし、やりがいもあります。

小林 ベガルタ仙台って、予算でいったら上から20番目くらいで、J2のカテゴリーに入ってしまうくらいなんです。それだけの予算で、どこの監督がこれだけのチームをつくれるのか。ナベさんはもっと評価されていいと声を大にして言いたい。でも結局は勝敗しかないのがプロの世界。勝つことは簡単ではないけど、夢の実現に向かってがんばります。

—最後に、お二人にとって「駒澤スピリッツ」とは？

渡邊 人を支えることと支えられること。駒澤大学という一つの名前だけでもいろいろの繋がりが生まれています。互いに支え合う人との繋がりをこれからも大事にしていきたいと思っています。



医療健康科学部 診療放射線技術科学科

馬込 大貴 講師

数学と物理のちからで命を救う。 放射線とAI技術を駆使した がん治療最前線

がん治療に大きな威力を発揮するのが放射線治療だ。馬込先生は、患者の[※]QOLを高め、さらに治療成績を上げるために、より精度の高い放射線照射やAIを活用した画像データ診断、ビッグデータ解析などに取り組んでいる。



Magome Taiki

2013年九州大学大学院医学系府保健学専攻修了。博士（保健学）。日本学術振興会特別研究員、ミネソタ大学Masonic Cancer Center研究員を経て16年より現職。医学物理士／診療放射線技師／第1種放射線取扱主任者

より詳しい記事はラボ駅伝をご覧ください(6月掲載予定)

駒大 ラボ駅伝 検索

医学界のデータサイエンティスト 医学物理士という仕事

放射線治療と聞くと、皆さんがまず思い浮かべるのは診療放射線技師でしょう。放射線治療装置などを操る専門家ですね。一方、医学物理士は、放射線治療にあたって、最適な放射線量や、どの角度から放射線を当てるべきかなどを数学や物理の知識を使って設計し実現するのが仕事です。放射線の制御には物理学、どの方向から当てるかは数学による計算が必要です。もちろん一般的な医学や解剖学の知識も必要とされます。

欧米では医学物理士も放射線治療医師と同様に責任を分担して仕事をしています。日本では医師がその仕事を兼ねることが多く、ようやく国家資格化が動き出したところ

病巣をピンポイントでねらった 放射線治療ができる時代に

放射線治療の手法も装置も日々進化し、取り扱うデータも増えています。近年、あらゆる産業や学術分野でデータサイエンティストが求められているように、医学においても放射線や画像を扱うデータサイエンティストが必要とされているのです。

血液のがんである白血病の治療にあたっては、血液が作り出される骨髓への放射線照射が必要です。しかし、骨領域に限定して照射することが難しいことから、これまでは全身に照射していたため、臓器などへのダメージが避けられませんでした。

そこで注目されているのが「TMI (Total Marrow Irradiation: 全骨髓照射)」です。コンピュータで治療に必要な放射線量を計

算し、照射範囲を厳密に制御できるというメリットがあります。私がいたアメリカのミネソタ大学では既に希望者を募って治療も始めています。私たちも東京大学と共同研究を行い、医用画像の解析を進めるとともに、最適な計算式やプログラミングを探っています。

さらにTMIの研究が進めば、よりピンポイントな治療が可能になるでしょう。少しでも白血病の生存率向上に寄与したいと頑張っています。

医用画像をAIで解析し がん検出率を飛躍的に上げる

もう一つの大きなテーマにAI（人工知能）を使った医療ビッグデータの解析があります。非常に優れた治療方法も、ある患者さんにはまったく効かないということがあります。生活習慣や遺伝子など、1人として同じ

人間はいないからです。

そこで過去の健診等のデータや医用画像データ、病気のステージ、選択した治療方法などのデータをAIで解析して、初期段階での疾病の診断や、何が治療成績を左右するか、この場合はどういう治療を行うべきか、医療に役立てようという研究を進めています。既に、各大学病院や医療機関と協力して、放射線治療が必要となる様々な疾患のデータベース化を開始しました。研究を進展させ、医療の新しい形を提案したいですね。

2017年に駒沢キャンパスに竣工した「種月館」には、先進的な放射線治療装置を導入したトレーニングセンターがあります。世界的企業との産学連携で運用する日本初の設備で、学生はもちろん、外部の技術者なども利用できます。ここを拠点に私たちも世界に研究成果を発信したいと考えています。

※QOL: Quality Of Lifeの略。患者が充実感を持って、その人らしい社会生活を送ることができるような「生活の質」のこと



経済学部 現代応用経済学科

長山 宗広 教授

日本型地域活性化の秘訣は？ アントレプレナー（起業家）を育て 経済も社会も元気に

近い将来の「地域消滅」が危惧される日本で、地域の再生は急務だ。長山先生は、日本独自の地域活性化策を探り、新規事業を興すアントレプレナーの育成と、それを生み出すプラットフォームの創出に力を注いでいる。

地域経済の産業クラスター化は なぜ日本で失敗したのか

少子高齢化や地方消滅が言われる日本において、地域活性化は長年の課題です。アメリカのシリコンバレーを手本に、国の主導でベンチャーを促そうと2000年ごろから「産業クラスター型」の産業創出にも取り組みましたが、目立った成果は出ていません。

そもそも日本は終身雇用制度が前提なので起業するリスクは取りにくく、社内事業を仕切るポストに就くのも年功序列で時間がかかり起業スキルの習得も遅い。流動的な労働市場を持つアメリカとは、まったく環境が違うのです。私自身、長らく中小企業と地域経済のコンサルティングに関わり、日本の地域活性化には独自の方法が必要だと痛感しました。

アントレプレナーを育む 地域のプラットフォームを創る

これまで日本で活性化に成功した例を探ると、新産業の創出と同時に既存産業も再生していたことが分かります。例えば、静岡県浜松市では光技術を持つ地元の中核的企業が起業家養成大学を作り、その卒業生が光技術を利用して野菜作りや、既存産業への技術提供を行うベンチャー企業などを興していました。日本の地域経済の底上げには、このような相乗効果を生む全体設計が必要だったのです。

また、地域活性化の背景には必ずキーマンがいます。地域全体を客観的に見通す視点を持ち、新事業創出に没頭できる熱意もある。こうしたアントレプレナー（起業家）の育成も重要です。ここで言う「起業」とは「会社を興す」だけでなく、プロジェクトの立ち上げや

町内会のイベントの企画など、ゼロからイチを創る「ことすべてをアントレプレナリシップ（起業活動）」として捉えます。そして、彼らを軸に、地域の経済と社会を同時に活性化するプラットフォームを創ることが重要です。

私のゼミでは、学生たちと実際に地域に足を運び、アントレプレナリシップを体験させています。地域産業ごとに班を作って課題や資源を調査し、それを持ち寄ってすべてを同時に解決できるプランを考え、さらに活性化事業に高校生を参加させることで想いを引き継ぐ世代も育ちます。

福井県小浜市では、駅前コミュニティ食堂を作り、地元の魚を高齢者と高校生が一緒に調理し、そこに観光客を呼び込んで地場産業の塗り替わり体験を行うなど、地場産業を再生しながら新たなソーシャルビジネスを生み出しました。

世田谷の「地域協働研究拠点」で 産官学連携の地域活性化を



Nagayama Munehiro

横浜国立大学大学院環境情報学府博士後期課程修了。博士（経営学）。信金中央金庫総合研究所、中小企業総合研究機構の研究員を経て現職。13年『日本のスピノフ・ベンチャー創出論』で中小企業研究奨励賞本賞・日本経営学会賞受賞（著書部門）。

より詳しい記事はラボ駅伝をご覧ください(9月掲載予定)

駒大 ラボ駅伝 検索

駒澤大学現代応用経済学科では今年4月、「地域協働研究拠点」を立ち上げました。これは、地域発でイノベーションを持続的に興していくために、本学の教職員や学生、世田谷区の行政関係者、区内の企業・商店街、NPOなど様々な立場の人々が気軽に参加するオープンなプラットフォームです。起業のアイデアや、地域にプラスになりそうなプロジェクトをプレゼンし、参加者が意見を出し合い、資金を集め、興味を持った仲間になる。いわば、起業に向けた「はじめの一歩」として、アントレプレナーを育てていく場です。区内の多様な社会課題に取り組み「コミュニティ」が、この拠点を通じて形成・連携し、世田谷をますます元気にしていくでしょう。

※産業クラスター：ブドウの房(クラスター)のように産官学が集まり連携して新たな産業創出を果たすこと

※学年等は当時のもの

各ニュースの詳細は、駒澤大学ホームページをご覧ください。

駒大ニュース 検索

開校130周年記念棟
「種月館」完成
P20~P21参照

オリンピック・
パラリンピック教育を支援
P4~P5参照

駒澤大学―VARIAN 放射線治療人材教育センター設立

新しくスタートした種月館に開設されたのが、株式会社バリアンメディカルシステムズとの産学連携による「駒澤大学―VARIAN 放射線治療人材教育センター」。

地下1階にはバリアン社製の医療用直線加速装置(リニアック)「TrueBeam」を設置し、放射線治療計画システム「Eclipse」および放射線治療情報システム「ARIA」など一連の放射線治療関連ソフトウェアを用いて、非臨床用ではありながら、ほぼ完全に臨床を再現した放射線治療システム一式を使用したトレーニングの場を提供。



バリアン社
医療用直線加速装置
(リニアック)



に向け、がんの高度放射線治療計画および実施に関する実践的な教育コースを展開する計画だ。

小沢誠教授が 「The 2016 Mahoney-Neumann-Room Prize」を受賞

総合教育研究部自然科学部門の小沢誠教授が、2017年12月に開催されたオーストラリア数学会年会で「The 2016 Mahoney-Neumann-Room Prize」を受賞した。この賞は、オーストラリア数学会が刊行している専門誌「Journal of the Australian Mathematical Society」で過去6年間に発表された論文の中から優秀論文6本に与えられるもの。



医療健康科学部の教員・学生が 「JRC2017」で3つの賞を受賞

JRC (Japan Radiology Congress) は、放射線医学、放射線技術学、医学物理学分野の各学会が合同で開催する国内最大の学会。17年4月16日(日)、パシフィコ横浜会議センターで行われた「JRC2017 CYPoS賞」合同表彰式で、宮川真さん(医療健康科学研究科修士課程修了)がCYPoS大会長賞を、医療健康科学部馬込大貴講師と水谷拓也さん(医療健康科学研究科修士)がブロンズアワードとエクスレントスチューデントアワードをそれぞれ受賞した。

文部科学省「トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム」第7期生派遣留学生に中西竜也さん(商3)が選出

下川功祐さん(経営4)が 「マイクロソフトオフィススペシャリスト 世界学生大会 日本代表選考」で入賞

「第7回 学生観光論文コンテスト」 優秀賞

番場博之ゼミ(経済学部)の田中由香さん(商3)及川侑香さん(現代応用経済3)、倉品果歩さん(現代応用経済3)が、「第7回学生観光論文コンテスト」(主催:一般財団法人日本ホテル教育センター)で優秀賞を受賞。



森瑠菜さん(商3)が
「平成29年度学生
ビジネスプランコンテスト」で
アイデア賞

田中綾乃さん(経済3) 「第41回全国学生書写書道展」で 「日本書写技能検定協会理事長賞」を受賞

オーストラリアンフットボール部 「マグパイズ」 「2017 AFL International Cup」の 日本代表に以下の5人が選出

- 鳥巢悠毅(法律4)
- 清水颯月(グローバルメディア4)
- 藤田純平(市場戦略3)
- 山路雄大(法律2)
- 松村大成(政治2)



アイススケート部 中畑澄路選手(法律2) 「世界シシクロ ナイアスドス ケーティング 選手権大会2018」に日本 代表として出 場



サッカークラブ部 高橋潤哉選手(経営2)と 星キョウワン選手(法律2)が、 「ミヤンマー遠征」に参加する U-20全日本大学選抜に選出

硬式野球部 東都大学野球リーグ 1部に復帰

相撲部 「第96回東日本学生相撲選手権 大会」で1部昇格を果たす

プロチーム等への加入 サッカー部 熱川徳政選手(歴史4) J3「アスルクラロ沼津」 バスケットボール部 石井峻平選手(グローバルメディア4) B・L・E・A・G・U・E 2の「アリス フレンズ東京Z」2017 -2018シーズンの特別指 定選手として選手登録

男子バレーボール部 戸嵩高大選手(経済4) Vリーグ「東レア ローズ」 土井友登選手(神4) Vチャレンジリーグ「つくば ユニテッドSunGAIJA

硬式テニス部 平成29年度関東学生テニス選 手権大会本戦WC選考大会」 優勝 日暮春香選手(歴史1)

関東学生テニストーナメント 大会「男子ダブルス」 日野勇人選手(経営2)と 田村迅選手(経済2)が ベスト4に進出、全日本学 生テニス選手権大会に出場



弓道部 「第47回全関 東学生弓道選 手権大会」 優勝 水野佑香選手 (政治4)



卓球部 「平成29年度秋季関東学生 卓球リーグ戦(2部)」で優勝 し、1部昇格



橋本拓磨選手(経済1) 「2018サファイアール国際 オープン」に関東学生卓球連 盟代表選手として出場

上野亨樹選手(現代応用経済2) 「関東学生卓 球連盟韓国 強化合宿」に 関東学連代 表選手とし て参加



空手道部 「内閣総理大臣杯第60回全国 空手道選手権大会」 男子団体形&組手 優勝 女子団体形&組手 優勝 男子個人形 優勝 栗原一晃選手(OB) 準優勝 栗原秀元選手(OB) 女子個人形 優勝 佐藤柚奈選手 (現代応用経済2) 男子個人組手 準優勝 栗原一晃選手(OB) 女子個人組手 優勝 杉本さ選手(心理2) 「船越義珍杯第14回世界空 手道選手権大会」 優勝 中田匠選手(法律4) 一般の部 女子個人形 準優勝 佐藤柚奈選手 (現代応用経済2) 女子個人組手 準優勝 天野美雅選手(心理4) 手権大会(個人形の部)5位 梅山峻也選手(商2) 「第10回世界ジュニア&カ デット空手道選手権大会」 金メダル 杉本さ選手(心理2)



陸上競技部 「第49回全日本大学駅伝対校 選手権大会」 第4位

「第29回ユニバーシアード競 技大会」ハーフマラソン 優勝 片西景選手(地理3) 準優勝 工藤有生選手(政治4)

「禅と心」研究の 学際的国際的拠点づくりと ブランド化事業 WEBサイト開設

駒澤大学では、文部科学省補助事業平成28年度私立大学研究ブランディング事業の選定を受け「禅と心」研究の学際的国際的拠点づくりとブランド化事業を進めている。

2018年3月30日には、「禅ブランド化事業」ウェブサイトを開設し、「曹洞禅とその源流」「禅の受容と展開」「禅による人の体と心」「禅と現代社会」の4つの研究チームによる成果の公開をはじめ、事業に関わるニュースやイベントを日英両言語で発信。多様な分野の研究者とともに「ZEN」の新たな研究領域を開拓することもその成果や禅の魅力を広げ、国内外に広報していく。

青木茂樹ゼミ 「砧健康づくりウォーキングマップ」の 作成に協力

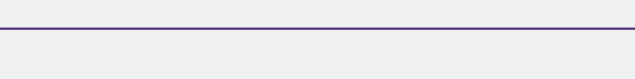
18年3月、経営学部の青木茂樹ゼミの学生が、世田谷区が発行する「砧健康づくりウォーキングマップ」の喜多見地区のバージョンアップを担当。地域の文化や歴史などの情報を収集するとともに、地域の魅力を掘

姉齒曉ゼミ 「世界一小さな花火大会」に企画参加

経済学部の姉齒曉ゼミが、新潟県の受託研究「佐渡市羽茂大崎集落活性化事業」の一環で集落を訪れていたことをきっかけに、17年9月、羽茂大崎で開催された「世界一小さな花火大会」に企画参加。戦前までお盆に軒先に灯籠を飾る習慣があったものの、戦争中の灯火管制で中断されたままになっていた灯籠を設置した。

長山宗広ゼミ 経済学部の長山宗広ゼミが 「うまいもん大学2017 at ルミネウィング」に参加。

松信ひろみゼミ 文学部社会学科の松信ひろみゼミが「東京レインボープライド2017」にボランティアとして参加し、来場者アンケートを実施。



就職力

2017年度は1万5536社から求人があった。就職決定率はなんと98.0%。業界研究や各種資格試験、文章・面接対策講座など300にものぼる就職支援講座や希望者全員を対象にした面談など、一人ひとりの学生に向けたきめ細かなサポートが駒澤大学の就職力を支えている。

求人企業
15,536社

東京を中心に、全国各地の多様な業種の企業から学生一人当たり5.31社と多数の求人がある。

求人倍率
5.31倍

全国の大卒求人倍率の1.78*と比べ、3倍近い求人倍率だ。(2017年度卒業生対象) ※出典:リクルートワークス研究所

就職決定率
98.0%

2015年度卒業生が95.3%、2016年度は97.4%で、ここ3年、就職希望者の95%以上が就職している。

主な就職先

仏教学部

理学部
オープンハウス
トーションパートナーズ
中立電機
埼玉日産自動車
青森銀行
テイクアンドグヴ・ニース
本山安居

仏教学科
大和ハウス工業
スターツグループ
エバラ食品工業
JVCケンウッド
久月
日本瓦斯(ニチガス)
はせがわ
ALSOKグループ
オリックス自動車
防衛省 陸上自衛隊
茨城県警察本部
警視庁
本山安居

社会学科(社会学専攻)
大和リビングマネジメント
河北新報社
日通商事
リコージャパン
福島銀行
上田信用金庫
テレビ朝日ミュージック
パナソニックグループ
明治神宮外苑
福島県庁

社会学科(社会学専攻)
大東建託
フランスベッド
東邦薬品
JT Bグローバルアシスタンス
横浜市教育委員会
青森県教育委員会
警視庁

英米文学科
東芝エレベータ
住友林業
亀田製菓
産業経済新聞社
東京急行電鉄
全日本空輸
日本航空
日本アセス
三菱UFJ銀行
日本郵政グループ
楽天
ニチエ学館
東京都教育委員会
防衛省 陸上自衛隊

地理学
郵船トラベル
JTBコーポレートセールス
アルバック
東海旅客鉄道(JR東海)
成田国際空港
城南信用金庫
熊本県教育委員会
長野県教育委員会
東京国税局
横浜市消防局

経済学部
経済学
ロッテ(ロッテグループ)
東レ
NECグループ
そごう・西武
ファーストリテイリング
群馬銀行
広島銀行

歴史学科
東京地下鉄(東京メトロ)
三井食品
神奈川銀行
第三銀行
武蔵野銀行
千葉信用金庫
第一生命保険
明治安田生命保険
阪急交通社
クラブツーリズム
リゾートトラスト
日本年金機構
埼玉県教育委員会
神奈川県教育委員会
久月
甲府市役所
神奈川県庁
江戸川区役所

商学科
住友林業
カバヤ食品
タカラスタンダード
東日本旅客鉄道
ソニー銀行
三井住友銀行
七十七銀行
横浜信用金庫
野村證券
あいおいニッセイ同和損害保険
オリエントコーポレーション
富士ソフト
星野リゾート・マネジメント
日本年金機構
警視庁
東京消防庁

現代応用経済学科
フランスベッドホールディングス
タイガー魔法瓶
東京急行電鉄
ANAエアポートサービス
みずほフィナンシャルグループ
ゆうちょ銀行
常陽銀行
西武信用金庫
SMB C日興証券
エイチ・アイ・エス
埼玉県教育委員会
一般財団法人建設物価調査会
海上保安庁
東京国税局
横浜市消防局
世田谷区役所

法学部
法律学科フレックスA
山崎製パン
第一法規
富士通
東京地下鉄(東京メトロ)
大塚商会
オリックス銀行
ゆうちょ銀行
川崎信用金庫
大和証券
日本生命保険
全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済)
ソフトバンク
千葉テレビ放送
弁護士法人ペリーベスト法律事務所
東京国税局
杉並区役所
東京地方裁判所
北海道庁

心理学
平和食品工業
日立製作所
ソレキア
十六銀行
東北銀行
さわやか信用金庫
損害保険ジャパン日本興亜
さいたま市役所
世田谷区役所

法律学科フレックスB
大和ハウス工業
宙出版

三菱UFJ銀行
三井住友海上火災保険
キューブ
アクセンチュア
千葉県庁
豊島区役所

政治学
東京急行電鉄
日本アクセス
日本食研ホールディングス
西日本シティ銀行
かながわ信用金庫
岡三証券
第一生命保険
エフエム長崎
東武トップツアーズ
日本郵便
警視庁
東京消防庁

政治学
タカラスタンダード
下野新聞社
岩手日報社
産業経済新聞社
新日本法規出版
アルピオン
ノーリツ
コニカミノルタ
全日本空輸
日本出版販売
三越伊勢丹
足利銀行
武蔵野銀行
足立成和信用金庫
東海東京フィナンシャル・ホールディングス
野村證券
とちぎテレビ
防衛省 海上自衛隊
江戸川区役所
新潟市消防局
静岡県庁
足立区役所
特別区人事委員会
栃木県庁

経営学部
経営学
東芝エレベータ
積水ハウス
伊藤園
アイリスオーヤマ
日本製紙
アース製薬
能美防災
富士通
中国国際航空股份有限公司
日本航空
ANAエアポートサービス
三谷商事
ゆうちょ銀行
日本生命保険
あいおいニッセイ同和損害保険
帝国データバンク
富士ソフト
博報堂プロダクツ
JTBグループ
阪急交通社
日本旅行
川崎市教育委員会
ナバレーゼ
世田谷区役所
東京消防庁

市場戦略学
東京テアトル
東海漬物
イトーキ

TOTO
ディスコ
ANAウイングス
ソラシドエア
ミドリ安全
ワールド
三菱食品
大塚商会
トーハン
みずほフィナンシャルグループ
沖縄銀行
三井住友銀行
西武信用金庫
東京ベイホテルズ
東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾート
警視庁

医療健康科学部

診療放射線技術科学科
医療法人社団愛友会
上尾中央総合病院
医療法人社団大坪会
東和病院
学校法人東海大学
東海大学医学部付属病院
学校法人東邦大学
東邦大学医療センター 佐倉病院
学校法人獨協学園
獨協医科大学埼玉医療センター
東芝 東芝病院
公益財団法人日産厚生会
玉川病院
公立大学法人横浜市立大学
横浜市立大学附属病院
国立研究開発法人
国立がん研究センター 東病院
国立研究開発法人
国立国際医療研究センター病院
地方独立行政法人
神奈川県立病院機構

グローバル・メディア・スタディーズ学部

グローバル・メディア学
ココロ
富士通
全日本空輸
中国国際航空股份有限公司
日本航空
ANAエアポートサービス
三谷商事
ゆうちょ銀行
日本生命保険
あいおいニッセイ同和損害保険
帝国データバンク
富士ソフト
博報堂プロダクツ
JTBグループ
阪急交通社
日本旅行
川崎市教育委員会
ナバレーゼ
世田谷区役所
東京消防庁

(2018.3.31 現在)

名誉教授に聞く

「水」の視点で、自然と地域、人間の関わりを見つめ直す 高木正博 名誉教授

大学で水質分析を学び、「川の汚れは人間の問題」と気付く

研究を始めたきっかけは50年前の学生時代にさかのぼります。もともと大学は工学部の応用化学に進み、水質分析を学んでいました。当時は高度成長の真っ最中で、工場排水や生活排水などが原因で多摩川の水は汚水のように濁っていました。それを目の当たりにして、具体的な水質データをもとに環境汚染の原因を探るこ



「地域環境調査法」で鳥海山南麓湧水等を調査。山形県遊佐町の宿舎付近で2009年6月26日撮影

とはできるけれど、汚れているのは人間ではなく、私たちの生活の何が川を汚しているのか、あるいは汚れた川を元に戻すにはどうしたらいいか、人文科学の観点から学び直したいと駒澤大学の大学院に進んで地理学を学びました。

キーワードは水循環と水収支 水の動きを地域の中で考える

研究のキーワードは水循環と水収支です。水は巡っているというだけではだれもが常識として知っていますが、人々が暮らししている地域に当てはめ、どう循環しているのかを解き明かさなければなりません。その際、地域に入ってくる水がどこから来て、どう流れ、実際に使われて出ていくのか、水の収支のバランスがとれているかどうかを把握することが重要です。これがアンバランスになるとどこかに問題が出てきてしまう。

例えば、今の東京は次々と自然が失われて多摩川の水は枯渇が進んでいます。それなのに中流から下流域にかけて、河川の水はとうとうと流れています。この

水がどこから来たかという点、実は中流域の6割ぐらいは下水処理水。この水が東京湾に流れ込んでいるのです。お台場の水が汚くて海水浴もできないというのは、流域外からの取水により、水収支のアンバランスが生じた水質問題といえるでしょう。このように身の回りの水の動きを具体的な地域の中で見ていくと、さまざまな問題点が浮かび上がってくるし、また、そこを分析することで解決策も見えてくるのです。

自分なりの視点で新しい地理学を築け

教員時代は、学生を連れて全国各地の水辺を回りました。「水の町」として知られ、街中に水路が張り巡らされている岐阜県の郡上八幡は、地域の人が水を大切に思い、毎朝、水路をきれいに掃除しています。せぎ板一枚で、水路をせき止め、洗濯や野菜を冷やしたりと、さまざまな工夫を凝らし、水を活用していました。赤土流出が大きな問題となっていた石垣島を訪れたこともあります。いずれも、学生が

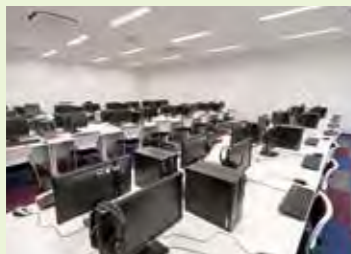
さまざまな観点から地域を探り、実証的に研究できる地域を選びました。フィールドワークで大切なのは、いろいろな角度から地域の特徴を調べ、それぞれの視点を通して地域を浮かび上がらせること。経済活動から見ることでも、マーケティングの視点でもいい。都市の成長という視点もあるでしょう。その中で、私は水を中心に見てきたわけですね。

2022年には、高校の科目として「地理総合」が必修になる予定です。これからの若い人々には、身近な問題の解決の糸口としてぜひとも自らの視点で新しい地理学を築いてほしいと思います。



Takagi Masahiro

1947年11月生まれ。69年神奈川県立工学部応用化学科卒業。72年駒澤大学人文科学研究科修了後、同大学助手。93年～94年仏ルイ・パスツール大学留学。88年教授。文学部長、応用地理研究所長等を歴任。17年定年退職。水環境、水利用、水害等の研究で業績を残す。



PC72台とプリンタ2台を設置した、個人利用対象の自習室。

情報自習室



アクティブラーニングのためのグループワークスペース。ノートPCの貸出が可能のほか、プリンタも設置。

情報グループ学習室



教場は2階から9階まで、全部で43部屋。なかでも大教場は座席数400とキャンパス内でも最大。

3F

教場



ダンスやパフォーマンスを披露してみたい

15.6×25.8m、高さ7mの多目的ホール。収納型のステージも用意されていて、椅子を並べると380人を収容可能。防振・防音性能もバッチリ。

4F

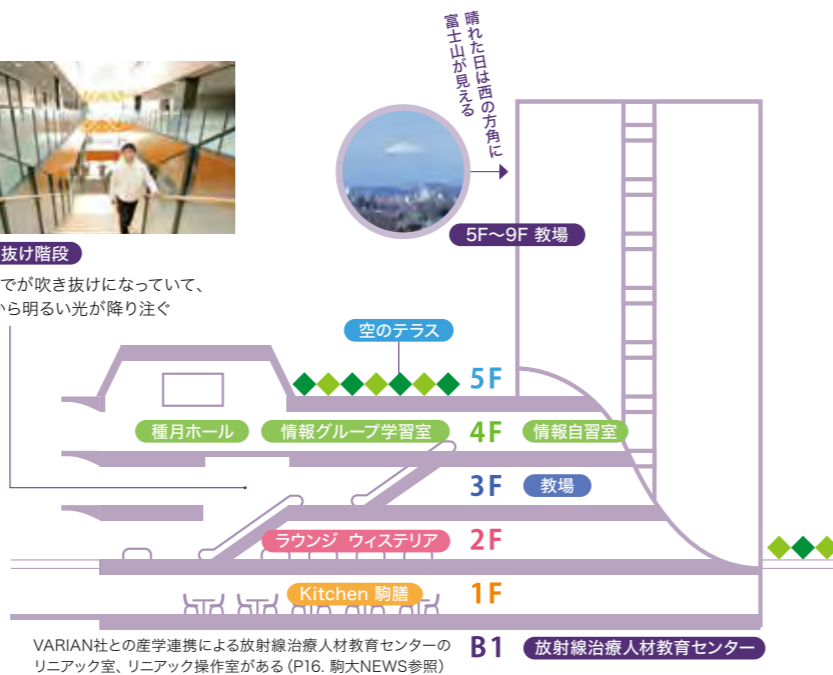
種月ホール

いろいろな使い方ができそう！



吹き抜け階段

4階までが吹き抜けになっていて、天井から明るい光が降り注ぐ



明るい日差しが注ぐ開放感いっぱいの空のテラス！



5F

空のテラス

外の空気が気持ちいい！

低層部屋上のルーフテラスは、広さ568m²。晴れた日は青空が足元まで広がって気持ちいい！東京タワーやスカイツリーも望める。



どこからでも好アクセスのラウンジは待ち合わせにもってこい

2F

ラウンジウィステリア

1号館2階部分とつながった場所に位置する広々としたラウンジ。大学カラーの紫を基調にしている。2階「隈色」、3階「紺碧」、4階「曙」などと、各階ごとにテーマカラーが決まっている。



現役駒大生が案内

種月館

ズームアップ

駒澤大学開校130周年記念棟「種月館」の第1期工事が終了し、この4月から運用がスタート！地下1階地上9階建て、最新の設備と充実した環境が自慢の新校舎だ。4人の学生に見どころやお気に入りの場所を案内してもらった。

座席数は1200！

銀座スエヒロカフェテリアサービスに加え、ベーカリー「ヴィ・ド・フランス」、さぬきうどん専門「丸亀製麺」が大学キャンパス初出店。食堂がさらにパワーアップ。



1F

Kitchen 駒膳

太陽光発電やエネルギーの使用状況が見える化されているんだ。



風・光・熱・水を生かした環境調和型キャンパス



種月館は、国交省の「住宅・建築物省CO₂先導事業」にも採択されたエコな校舎。方位に応じた日射制御や自然換気などのパッシブな手法に加え、自律型水冷式空調制御システムや無線による個別調光制御システム、BEMS(ビルエネルギー・マネジメントシステム)など、ICTを活用してエネルギー管理の最適化を図っている。

- 川田 涼 経済学部 経済学科 3年
- 小川 麻衣子 文学部 歴史学科 日本史学専攻 3年
- 佐藤 雅也 文学部 地理学科 地域文化研究専攻 4年
- 小林 礼奈 仏教学部 仏教学科 4年

【種月館】

禅語の「耕雲種月」から採った言葉。耕雲とは雲の下で耕すことで、種月は月の照らす中で植えること。あわせて労苦を厭わず耕作して種をまき、つまり、修行に精進することを指す。

数字で見ると 駒澤大学

駒澤大学の特色を数字で探ってみよう

学林の創設
1592年 / 426年

禅の実践と仏教の研究、漢学の振興を目的に、駒澤大学の前身である「学林」が、江戸駿河台吉祥寺境内に設立。当時は吉祥寺会下学寮と呼ばれていた。その後「曹洞宗大学林専門学本校」と改称し、開校式を行った1882年10月15日を開校記念日としている。学林の創立以来、420年以上にわたる歴史を誇る。

図書館蔵書数
124万冊

国文関係や歴史関係の古典籍をはじめ、所有する禅籍約3万6000冊の中から、貴重図書に指定された「禅籍善本図録」所収の202点にのぼる禅籍・仏書・洋古書の貴重図書がある。

在学学生数
15,358人
(2017年5月1日現在)

7学部17学科の学生が一つのキャンパスに集う。多様な出会いから生まれる活気も駒澤大学の魅力だ。

卒業生数
237,404人
(2017年4月現在)

1905年(明治38年)、「曹洞宗大学」と改称した当時から卒業生数は約23万人。毎年多くの卒業生を社会に送り出している。

産学共同の放射線治療人材教育センター
Only 1

駒澤大学には産学共同の放射線治療人材教育センターがあり、VARIAN社製放射線治療装置を有している。

開講科目数
4,262科目

4000を超える開講科目の中から、専門分野のみならず、興味のある分野を幅広く学ぶことができる。

クラブ・サークル団体数
168団体

うち体育会に所属する部は40団体、文化部23団体、任意団体103団体、その他の団体が2団体だ。

輩出したプロサッカー選手
72人
(7位)
※引退した選手も含む

出典:Webサイト「有名人の出身大学ランキング」サッカー選手出身大学ランキングより
<https://university-rank.com/0000274.htm>

輩出したプロ野球選手
74人
(4位)
※引退した選手も含む

出典:Webサイト「有名人の出身大学ランキング」プロ野球選手出身大学ランキングより
<https://university-rank.com/0000273.htm>

箱根駅伝
優勝回数 **6回** (12位)
出場回数 **52回** (7位)

駒澤大学といえば駅伝。箱根駅伝への出場回数は52回。1967年の第43回大会から連続出場を果たしている。

学長メッセージ

「青春」時代を 駒澤大学で過ごすことの意義

駒澤大学学長 長谷部 八朗



昨年度の学長就任以来、私の大学運営の基本方針は、「学生ファースト」です。それは、学生を甘やかすという意味ではありません。教職員の立場からは教育・研究・校務・事務、学生の立場からは正課・課外活動など、あらゆる大学での活動がそれぞれの目的に沿いながら、究極的には学生の成長のためであることを意識しつつ、それらの活動を、熟慮し実践することを意味しています。

学生の精神は、いわゆる「疾風怒濤(Surm und Drang)」の中にあり、期待と不安、焦燥と動揺、自我意識の高揚と社会意識の醸成という人格形成上の発達段階にあると言われます。学問に対する大いなる好奇心、将来に対する壮大な夢や欲求、新奇な着想や新たな創造

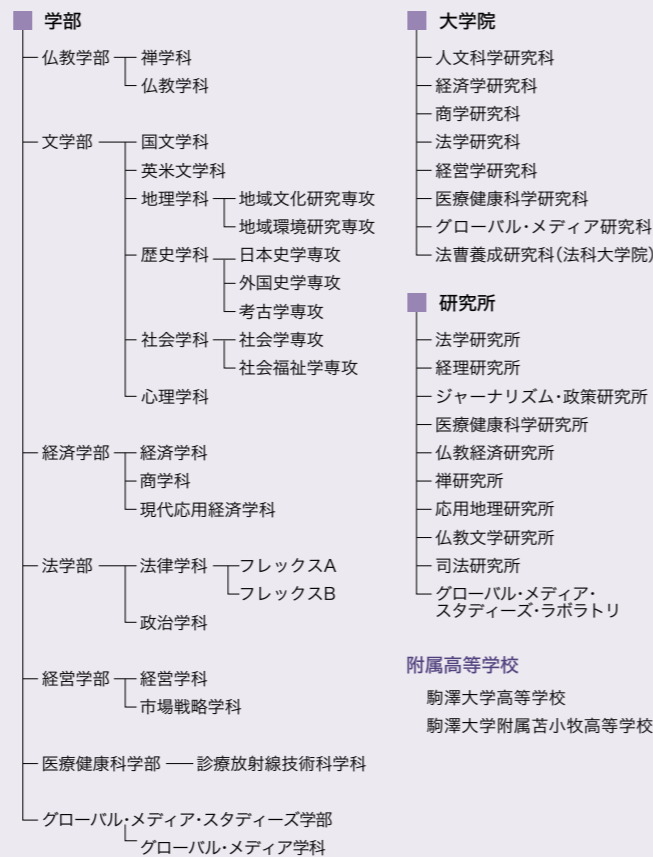
力などは、この疾風怒濤の時代、すなわち「青春」時代の特性として備わっており、それらは「生きるためのエネルギー」となるのです。このエネルギーを燃焼することで、自分の人生を構想し、その構想に基づき実行ないし具体化していくことが、大学生活の目的と言えます。

詩人サミュエル・ウルマンは「青春」という作品のなかで、「青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、…安易を振り捨て、冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ」と謳っています。

こうした心を映し社会に飛び立つ基礎を固める得がたい機会として、大いに駒澤大学での「青春」時代を謳歌されるよう願っています。

学校法人駒澤大学教育機構

駒澤大学



沿革

- 1592年 文禄元年 江戸駿河台吉祥寺境内に「学林」設立。駒澤大学の前身である「学林」は、曹洞宗が禅の実践と仏教の研究、そして漢学の振興を目的として設立。
- 1657年 明暦 3年 吉祥寺駒込に移転、中国の名僧・陳道栄が「旃檀林」と命名。
- 1882年 明治 15年 麻布北日ヶ窪に校舎を新築して移転、10月15日に校名を「曹洞宗大学林専門学本校」とする。
曹洞宗大学林の学生たち
- 1905年 明治 38年 校名を「曹洞宗大学」と改称。
- 1913年 大正 2年 大学を現在の駒沢(旧東京府荏原郡駒澤村)の地に移転。
駒沢移転当時の大講堂
- 1925年 大正 14年 大学令による大学として認可、「駒澤大学」と改称。
- 1949年 昭和 24年 学制改革により新制大学に移行、仏教学部・文学部・商経学部の3学部で再スタート。
- 1951年 昭和 26年 学校法人令による学校法人駒澤大学に組織変更。
- 1964年 昭和 39年 法学部を開設。
- 1966年 昭和 41年 商経学部を経済学部に変更。
- 1969年 昭和 44年 経営学部を開設。
- 1982年 昭和 57年 開校100周年。
玉川キャンパスグラウンド
- 1992年 平成 4年 「学林」設立以来400年を迎える。
- 2003年 平成 15年 医療健康科学部を開設。
- 2004年 平成 16年 大学院法曹養成研究科(法科大学院)を開設。
- 2006年 平成 18年 グローバル・メディア・スタディーズ学部を開設。
- 2012年 平成 24年 開校130周年。
「種月館」
- 2013年 平成 25年 駒沢移転100周年。
- 2018年 平成 30年 開校130周年記念棟「種月館」供用開始。



〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
TEL.(03)3418-9828 FAX.(03)3418-9017
<https://www.komazawa-u.ac.jp/>

K O M A Z A W A
U N I V E R S I T Y

Link

Link(リンク)には「人と人の繋がり」「伝統を繋げる」「地域と繋がる」という意味が込められています。